

# 協会けんぽ東京支部 令和2年度医療費分析



# 目 次

## I 基本情報

- 1. 加入者数 ・被保険者、被扶養者別 ・男女別 ・年齢階級別 ・業態別(被保険者のみ) … 1
- ・居住地別(被保険者のみ) … 2

## II 医療費の現状

### 1. 令和2年度医療費

- ・医療費総計 ・加入者1人当たり医療費 … 3
- ・加入者1人当たり医療費の推移 … 4
- ・年齢階級別 加入者1人当たり医療費 … 5
- ・加入者1人当たり医療費のレーダーチャート … 5
- ・疾病分類別 入院医療費 … 6
- ・疾病分類別 入院外医療費 … 7
- ・年齢調整後1人当たり医療費、疾病分類別3要素分解 … 8
- ・男女別 年齢階級別 加入者1人当たり医療費 … 9
- ・業態別 被保険者1人当たり医療費 … 10
- ・業態別 被保険者 年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解 … 11
- ・居住地別 被保険者1人当たり医療費 … 12
- ・居住地別(東京都内2次医療圏)別 被保険者1人当たり医療費 … 13
- ・居住地別 被保険者 年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解 … 14
- ・居住地別(東京都内2次医療圏) 被保険者年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解 … 15

## III 節目年齢における医療費

- 1. 人数 … 16
- 2. 令和2年度医療費 … 17 - 18
- ・男女別 被保険者1人当たり医療費 … 17 - 18
- ・男女別 疾病別 被保険者1人当たり医療費(入院+入院外)
- 胃の悪性新生物 気管、気管支及び肺の悪性新生物 … 19
- 結腸の悪性新生物 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 … 19
- 肝及び肝内胆管の悪性新生物 乳房、子宮の新生物 … 19
- 高血圧症患者 脂質異常症 … 20
- 糖尿病 腎不全 … 20
- ・業態別 被保険者1人当たり医療費と疾病別構成割合 … 21 - 23

### 医療費の分析における留意事項

#### 1. 集計対象

集計する対象は協会けんぽ加入者(被保険者、被扶養者)であり、都道府県別の医療費は加入者の事業所所在地別に集計している。平均加入者数、医療費は、令和2年4月～令和3年3月の期間における実績。

※節目年齢(30歳、40歳、50歳、60歳、70歳)の取扱い  
被保険者のうち、令和2年度末時点で節目年齢に該当するものを対象とする。

#### 2. 入院外について

入院外は入院外レセプトと調剤レセプトを接続させており、調剤分を含んでいる。

#### 3. 疾病別の医療費分析について

複数の傷病コードが付されているレセプト情報は、各レセプトについて【主傷病】を特定し集計する。主傷病を表すコードがある場合はその傷病を、無い場合は記載されている順番の早い傷病を主傷病とする。

※節目年齢(30歳、40歳、50歳、60歳、70歳)の取扱い  
レセプトの処置、投薬等からレセプト記載の傷病名ごとに診療報酬を案分し、案分した診療報酬に基づき傷病名ごとの医療費の総額を算出、算出した医療費を基に社会保険表章用疾病分類コードに集約し、コードごとの医療費としている。

#### 4. 生活習慣病の取扱いについて

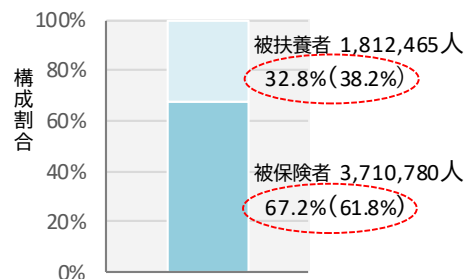
本分析においては、レセプトの傷病情報を121の傷病名に分類した社会保険表章用疾病分類を用いている。本資料の生活習慣病と、「傷病名コード(121分類)」との対応は以下の通り。

胃の悪性新生物:201	
結腸の悪性新生物:202	
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物:203	
肝及び肝内胆管の悪性新生物:204	
気管、気管支及び肺の悪性新生物:205	
乳房の新生物:206	子宮の新生物:207
糖尿病:402	脂質異常症:403
高血圧症:901	腎不全:1402

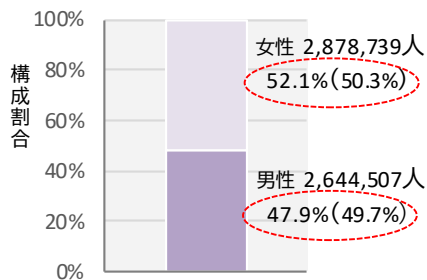
# I 基本情報

## 1. 加入者数 5,523,245人（令和2年度平均）

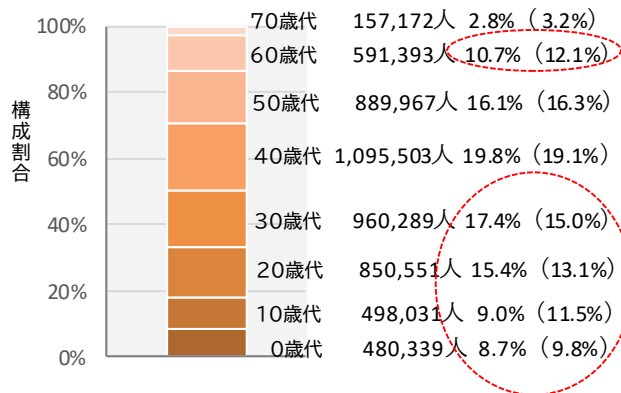
### ・被保険者、被扶養者別 ( )内は全国平均



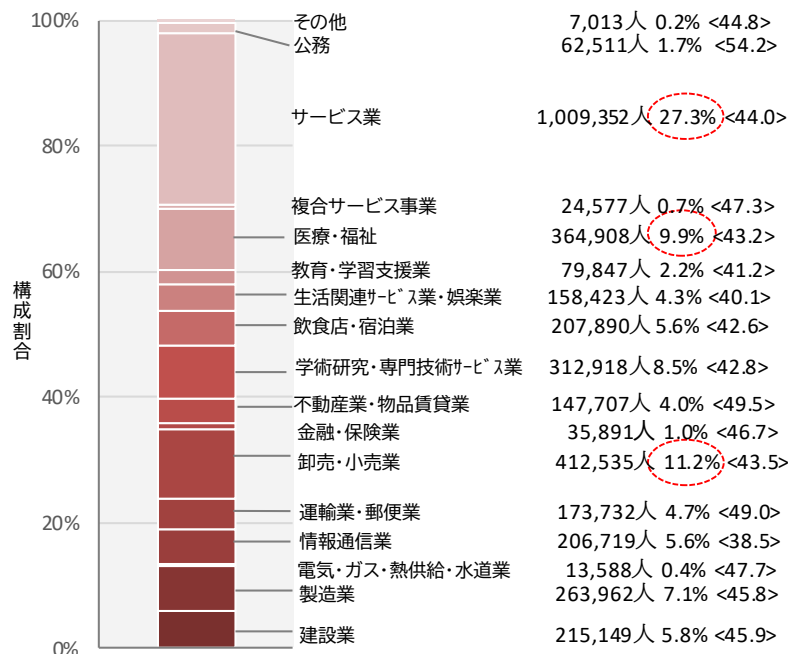
### ・男女別



### ・年齢階級別



### ・業態別



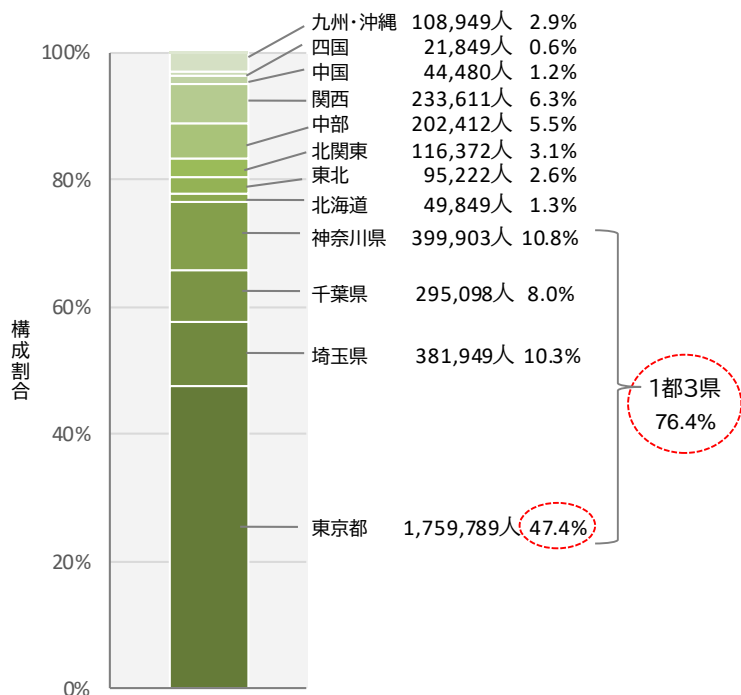
< >内は令和2年度末  
平均年齢  
業態計の平均は 44.1歳

### 加入者の状況は以下のとおり

- ・全国より被保険者の割合が高く、被扶養者が低い。
- ・全国より女性の割合が高く、男性が低い。
- ・全国より20歳代、30歳代の割合が高く、0歳代、10歳代、60歳代が低い。
- ・業態別(被保険者のみ)では、職業紹介・労働者派遣や事業所向けをはじめとしたサービス業が27.3%と最も割合が高く、卸売・小売業11.2%、医療・福祉9.9%と続く。
- ・居住地別(被保険者のみ)では、範囲は全国に広がるが、都内 47.4%、1都3県で76.4%となる。都内では、23区内に71.9%と集中している。

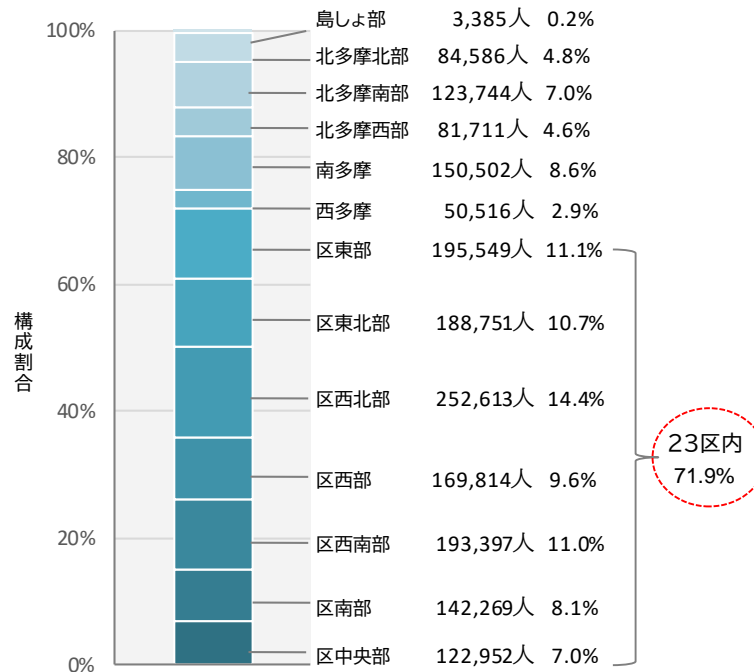
# I 基本情報

・居住地別(被保険者のみ) ( )内は全国平均



- 東北 : 青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県
- 北関東 : 茨城県、栃木県、群馬県
- 中部 : 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 関西 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州・沖縄 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

< 東京都の内訳 2次医療圏別 >



- 区中央部 : 千代田区、中央区、港区、文京区、台東区
- 区南部 : 品川区、大田区
- 区西南部 : 目黒区、世田谷区、渋谷区
- 区西部 : 新宿区、中野区、杉並区
- 区西北部 : 豊島区、北区、板橋区、練馬区
- 区東北部 : 荒川区、足立区、葛飾区
- 区東部 : 墨田区、江東区、江戸川区
- 西多摩 : 青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、西多摩郡
- 南多摩 : 八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市
- 北多摩西部 : 立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市
- 北多摩南部 : 武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市
- 北多摩北部 : 小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市
- 島しょ部 : 大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

## II 医療費の現状

### 1. 令和2年度医療費

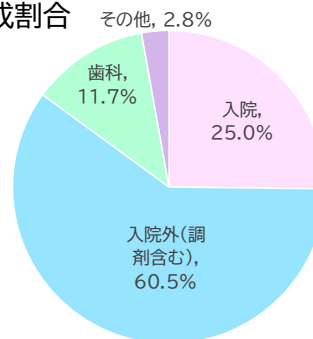
#### ・医療費総計

(億円)				
医療費計	入院	入院外 (調剤含む)	歯科	その他
9,414.5 (▲2.4%)	2,371.4 (▲1.7%)	5,633.8 (▲3.4%)	1,144.2 (1.4%)	265.1 (▲0.8%)

( )内は前年度からの伸び率

※ 医療費計は、社会保険診療報酬支払基金審査分(入院、入院外、  
歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費)、  
療養費(柔道整復療養費等)、移送費に係るもの。  
「その他」は、入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費を表す。

#### ・構成割合



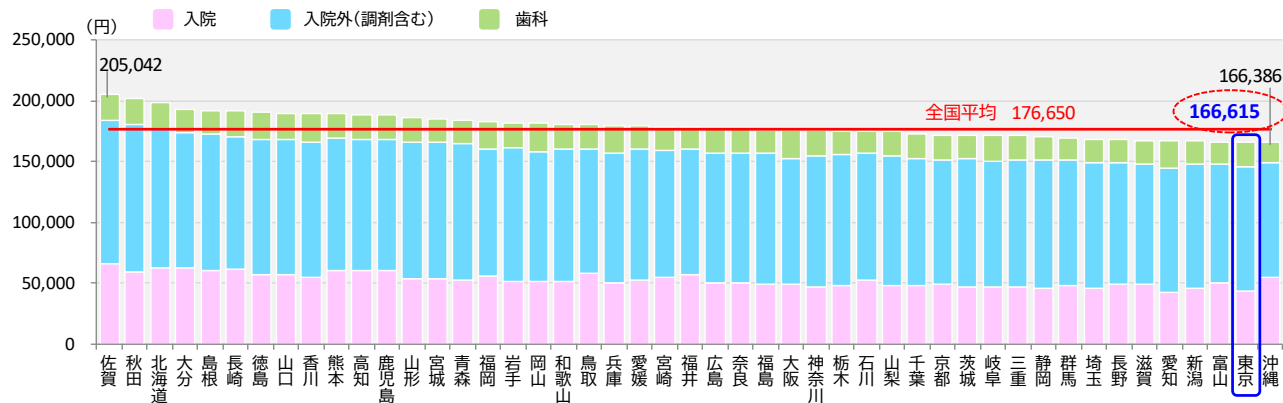
医療費総計は前年度から2.4%減となった。入院、入院外がマイナスであるが、構成割合で最も大きい入院外の伸びが▲3.4%と大きい。

#### ・加入者1人当たり医療費

	1人当たり医療費計 (円)		
	入院	入院外(調剤含む)	歯科
東京支部	166,615	43,729	21,096
全国平均	176,650	50,281	20,871

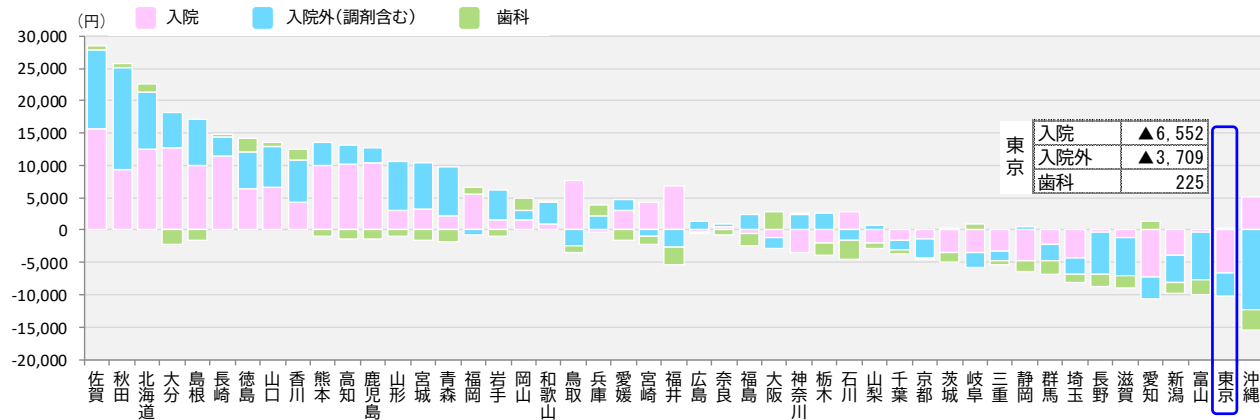
※ 1人当たり医療費にかかるレセプトの件数、日数、点数、点数(調剤を含む)は、いずれも「請求ベース」を使用

加入者1人当たり  
医療費  
全国の状況



## II 医療費の現状

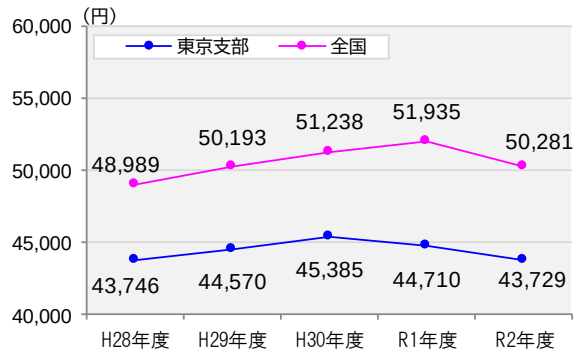
加入者1人当たり医療費  
全国平均を0とした場合の差



東京支部の加入者1人当たり医療費は、歯科は全国平均並みであるが、入院、入院外とも下回っており、高い順で全国46位となっている。

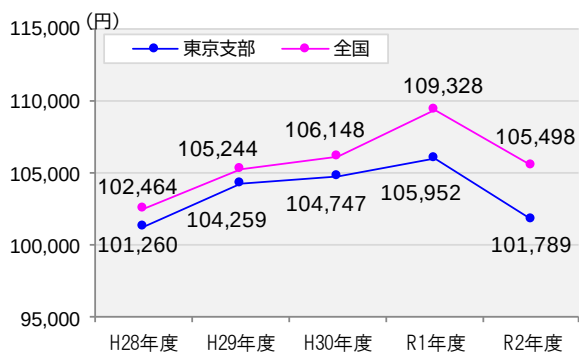
### ・加入者1人当たり医療費の推移

入院



東京支部	43,746 (1.7%)	44,570 (1.9%)	45,385 (1.8%)	44,710 (▲1.5%)	43,729 (▲2.2%)
全国	48,989 (1.1%)	50,193 (2.5%)	51,238 (2.1%)	51,935 (1.4%)	50,281 (▲3.2%)

入院外(調剤含む)



東京支部	101,260 (▲0.7%)	104,259 (3.0%)	104,747 (0.5%)	105,952 (1.2%)	101,789 (▲3.9%)
全国	102,464 (▲0.7%)	105,244 (2.7%)	106,148 (0.9%)	109,328 (3.0%)	105,498 (▲3.5%)

加入者1人当たり医療費は、入院、入院外とも全国平均を下回って推移している。

入院:平成30年度までは2%弱の伸びで推移していたが、令和元年度、2年度はマイナスの伸びとなった。

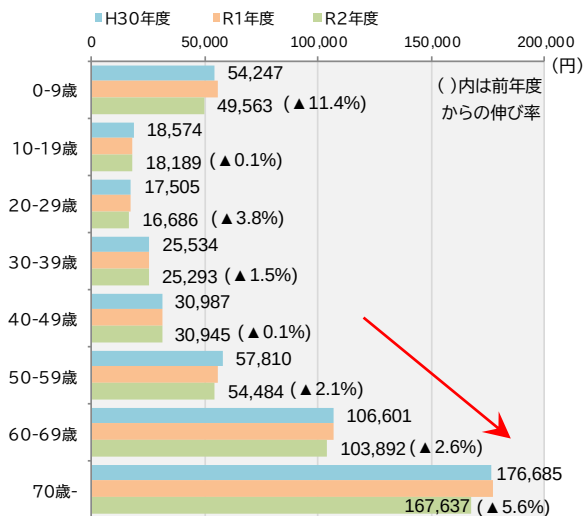
入院外:平成30年度までは全国と同様な傾向であったが、令和元年度は全国ほどの伸びはなく、2年度は新型コロナウイルスの影響による受診控えが推察され、マイナスの伸びとなった。

( )内は前年度からの伸び率

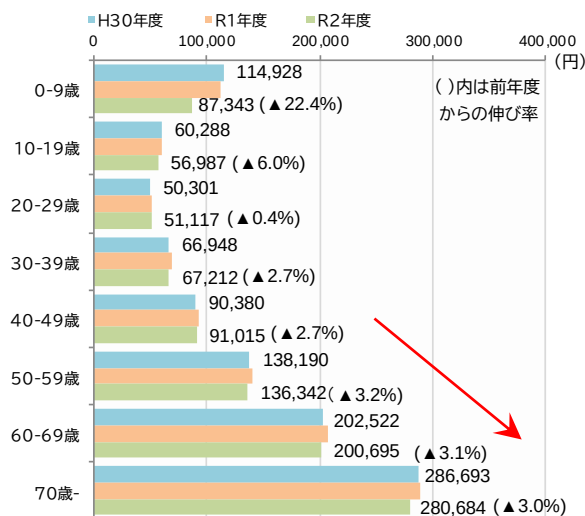
## II 医療費の現状

### ・年齢階級別 加入者1人当たり医療費

入院



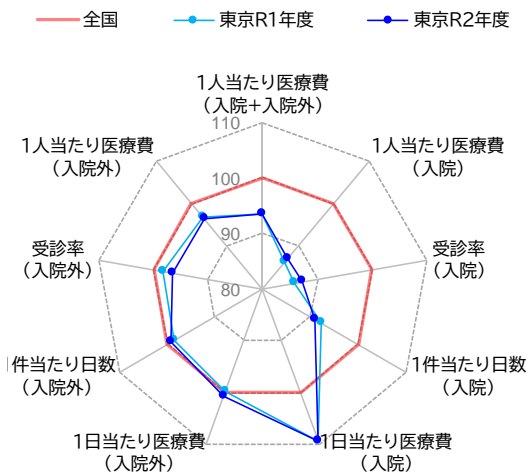
入院外(調剤含む)



10歳代以降、加齢とともに入院、入院外とも医療費増となるが、どちらも50歳代以降において、1つ前の年齢階級からの伸びが高くなっている。

2年度は、入院、入院外とも全年齢階級で、前年度からマイナスの伸びとなった。特に0歳代では、入院が11%弱、入院外が22%弱のマイナスと大きい。

### ・加入者1人当たり医療費のレーダーチャート



<1人当たり医療費を構成する3要素>

$$\text{1人当たり医療費} = \text{受診率} \times \text{1件当たり日数} \times \text{1日当たり医療費}$$

一定期間に医療機関にかかった人の割合 (レプト件数÷人数)

1つの疾病治療のために医療機関にかかった日数(診療実日数÷レプト件数)

1日当たりかかった医療費(医療費÷診療実日数)

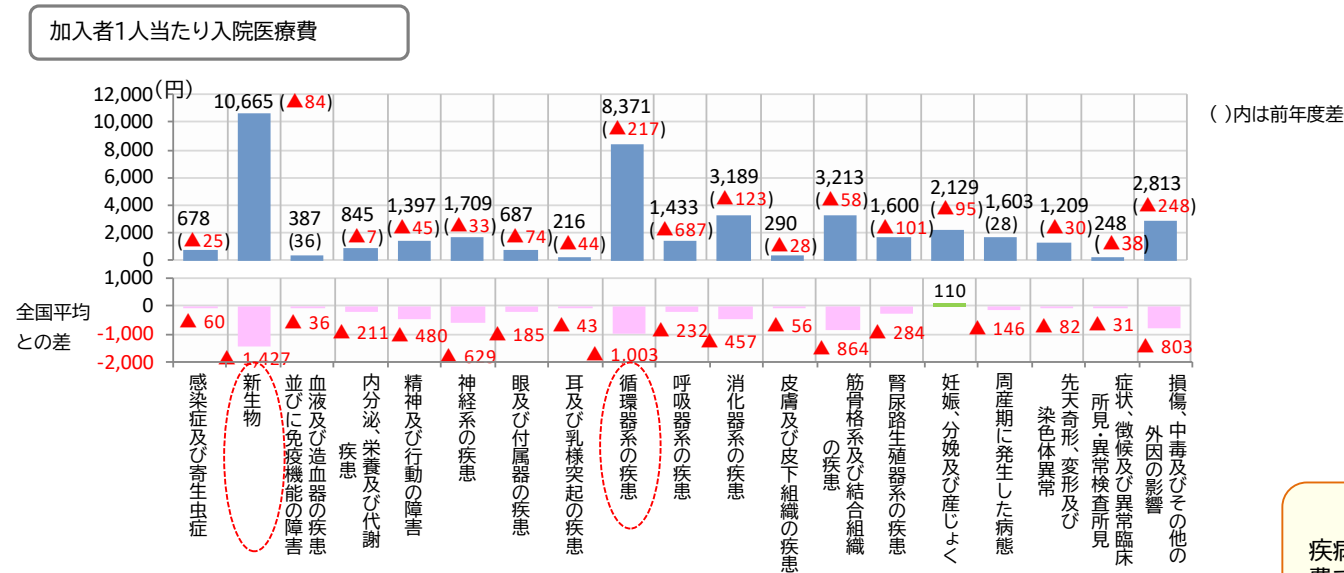
入院: 1人当たり医療費は全国を大きく下回っている。これは、1日当たり医療費が全国を上回っているが、受診率、1件当たり日数の低いことによる。

入院外: 1人当たり医療費は全国を下回っている。1件当たり日数、1日当たり医療費は全国並みであるが、受診率の低いことによる。

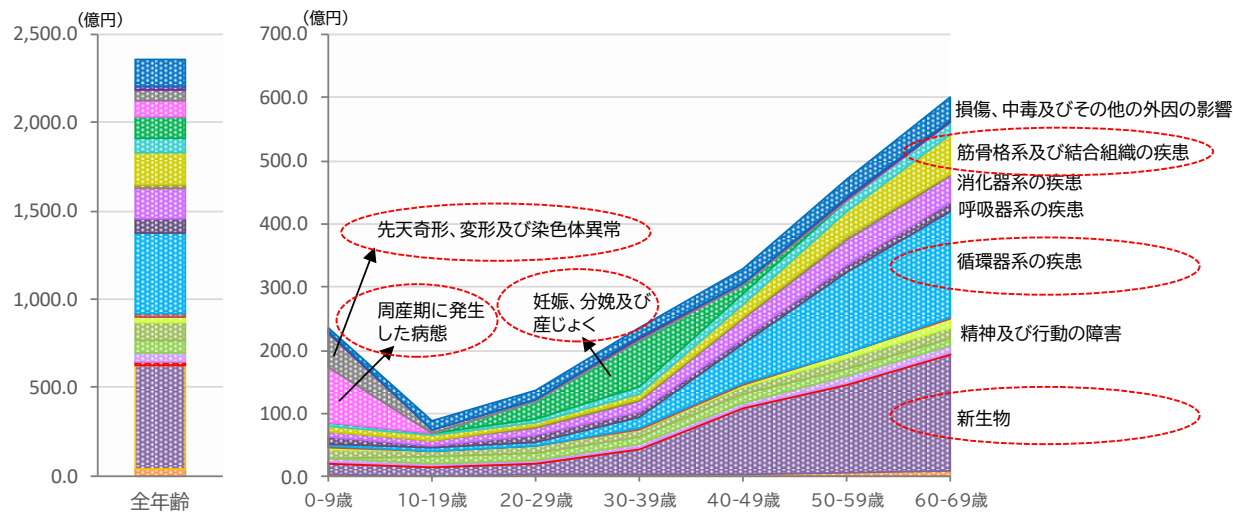


## II 医療費の現状

### ・疾病分類別、入院医療費



### 年齢階級別、疾病分類入院医療費



疾病分類別の1人当たり入院医療費では、「新生物」「循環器系の疾患」が高く、「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」と続く。  
ただし、「新生物」「循環器系の疾患」は全国より1,000円以上少ない。

#### 年齢階級別

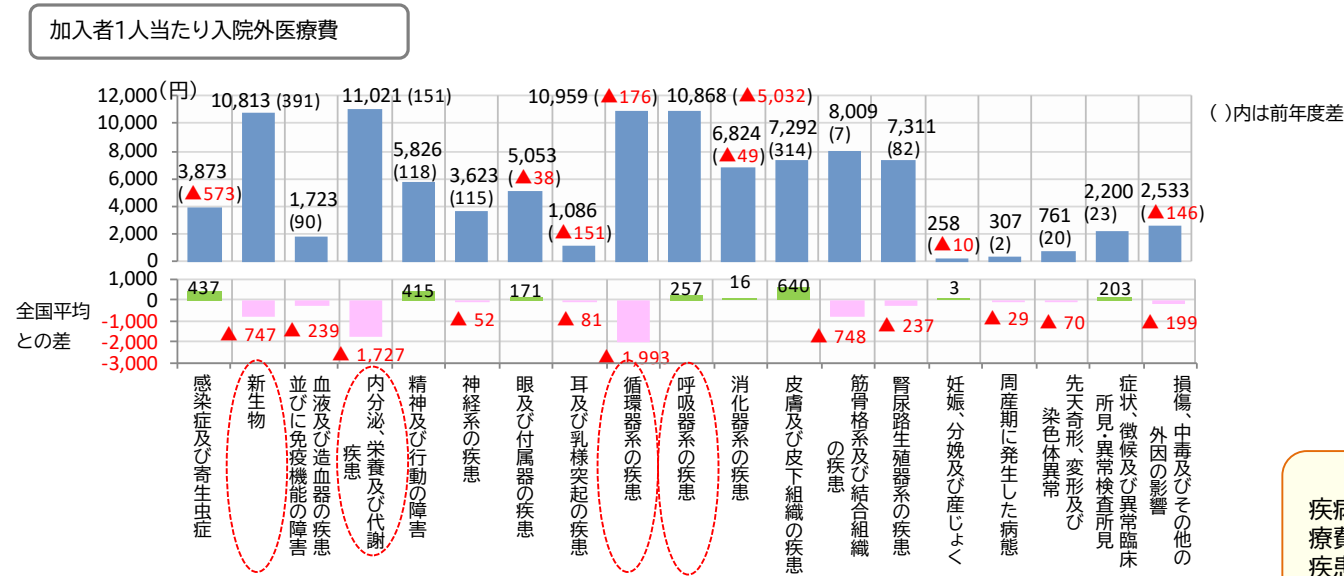
0歳代では、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」が高い。

20歳代、30歳代では、「妊娠、分娩及び産じょく」が高い。

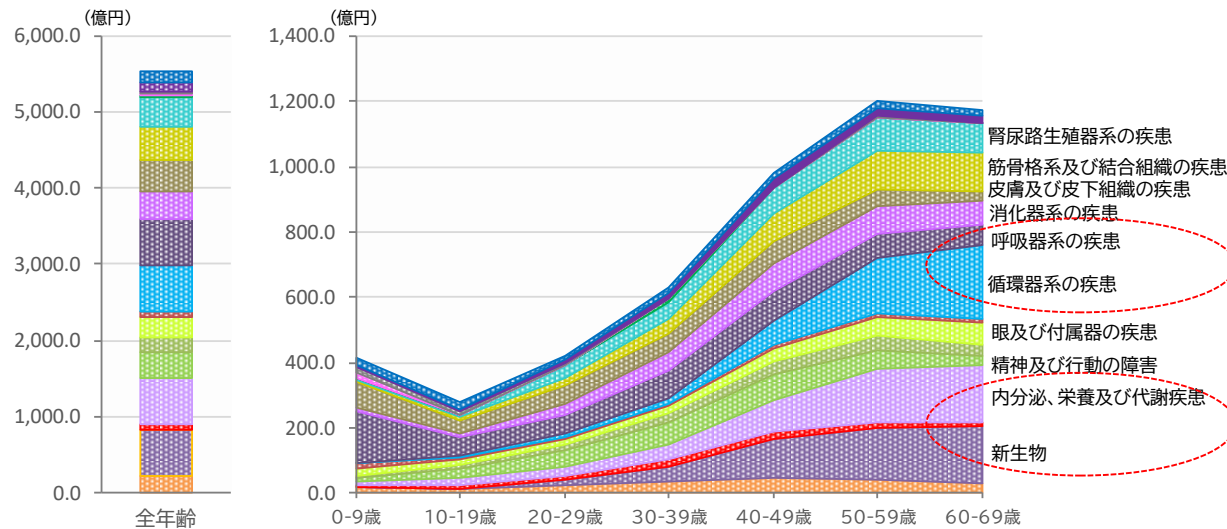
40歳代以降、医療費は増大し、「新生物」「循環器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の比率が高くなっている。

## II 医療費の現状

### ・ 疾病分類別、入院外医療費



### 年齢階級別、疾病分類別入院外医療費



疾病分類別の1人当たり入院外医療費では、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が最も高く、「循環器系の疾患」「呼吸器系の疾患」「新生物」と続く。

このうち、「呼吸器系の疾患」を除く疾病は全国を下回っている。「呼吸器系の疾患」は全国を若干上回るが、前年度から5,000円程度減となった。これは新型コロナウイルスの影響による受診控えが推察される。

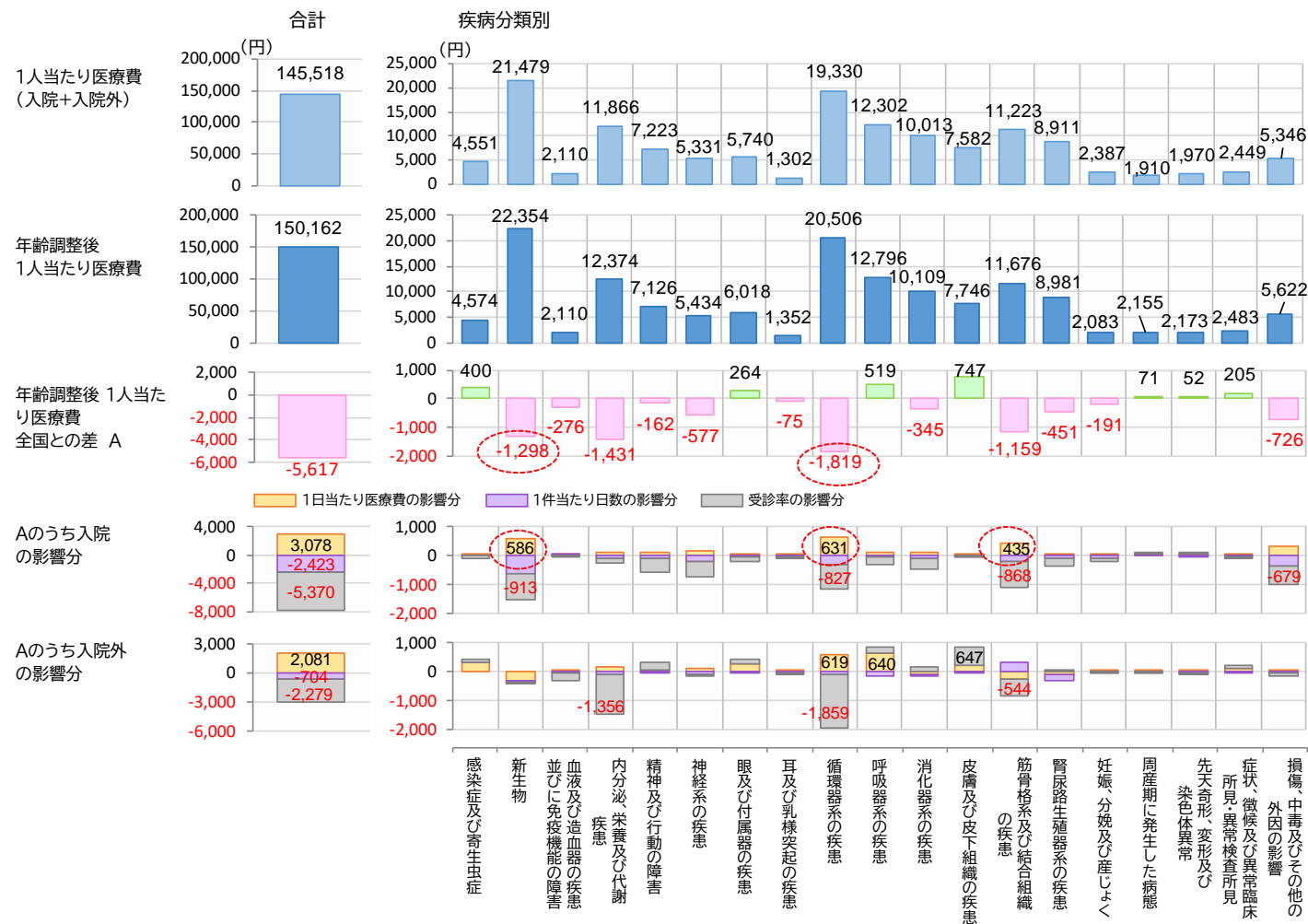
#### 年齢階級別

0歳代では、「呼吸器系の疾患」が高い。

加齢とともに医療費は増大し、「新生物」と合わせて、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」の生活習慣病の比率が高くなっている。

## II 医療費の現状

### ・年齢調整後1人当たり医療費、疾病分類別3要素分解

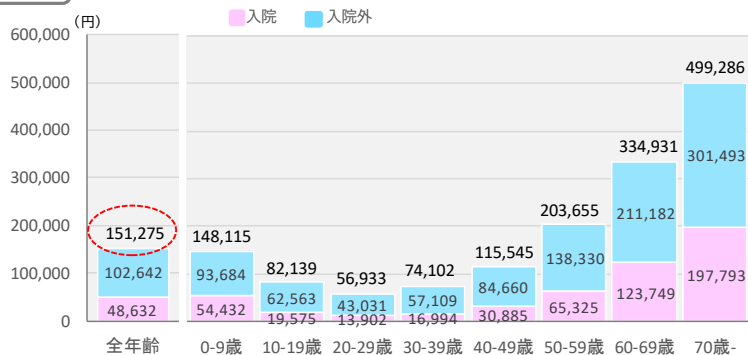


- ・年齢調整(年齢構成が全国と同一とする)後においては、1人当たり医療費(入院+入院外)は5,000円弱上昇する。
- ・年齢調整後においても、1人当たり医療費の高い「新生物」「循環器系の疾患」は全国を下回っている。
- ・5ページで示された入院の1日当たり医療費の高さは、「新生物」「循環器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」において大きい値となった。
- ・年齢調整後では、入院外の1日当たり医療費が高い結果である。

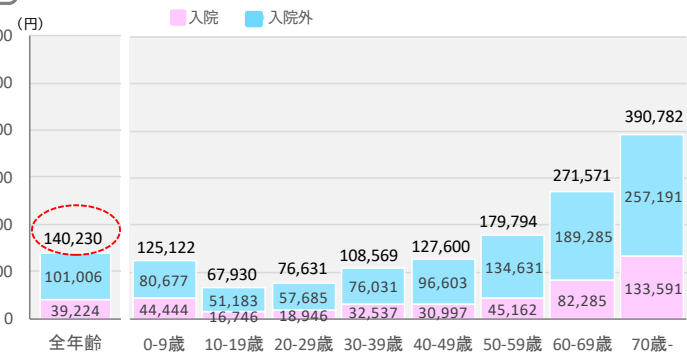
## II 医療費の現状

### ・男女別 年齢階級別 加入者1人当たり医療費

男性

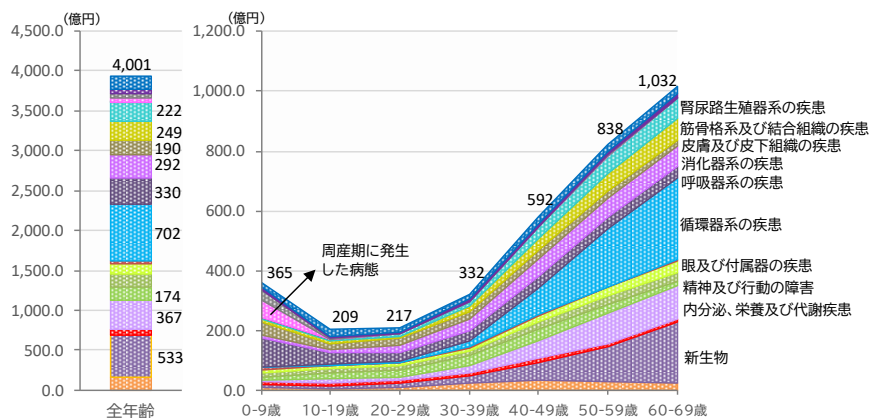


女性

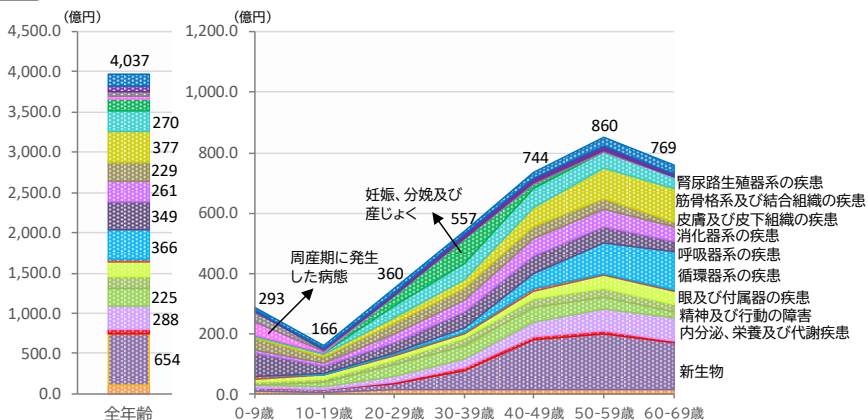


### ・男女別 疾病分類別、医療費(入院+入院外)

男性



女性



・男女別では、令和2年度の加入者1人当たり医療費は、男性が1万円程度上回った。

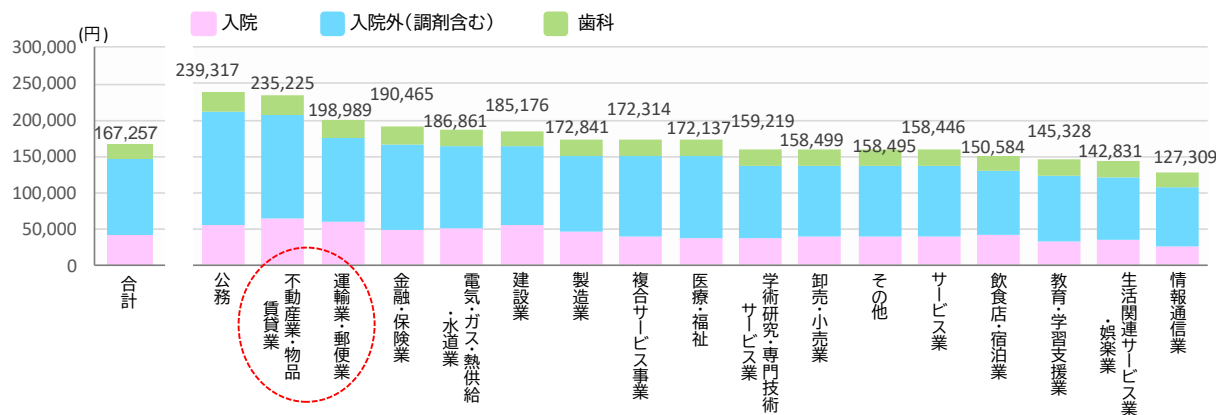
・年齢階級別では、20歳代～40歳代までは女性の方が高いが、50歳代以降は男性の方が高くなっている。

女性は20歳代、30歳代の「妊娠、分娩及び産じょく」「腎尿路生殖器系の疾患」、30歳代～50歳代の「新生物」、50歳代の「筋骨格系及び結合組織の疾患」が男性より多い。

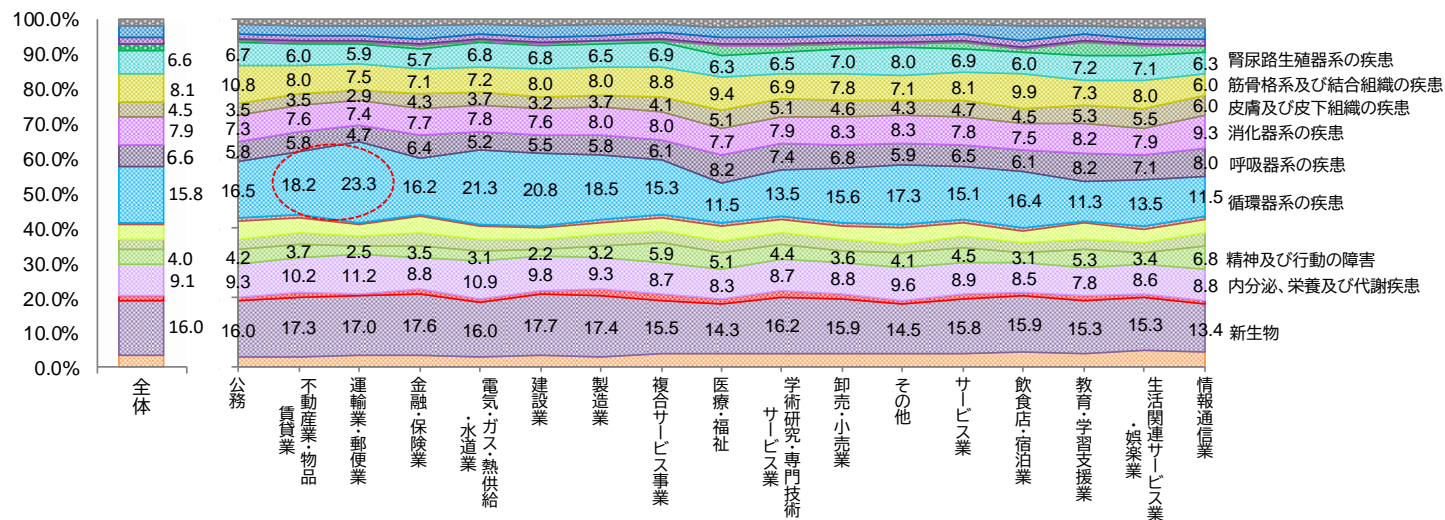
男性は40歳代以降の「循環器系の疾患」、50歳代～60歳代の「内分泌、栄養及び代謝疾患」、60歳代以降の「新生物」が女性より多い。

## II 医療費の現状

### ・業態別 被保険者 1人当たり医療費



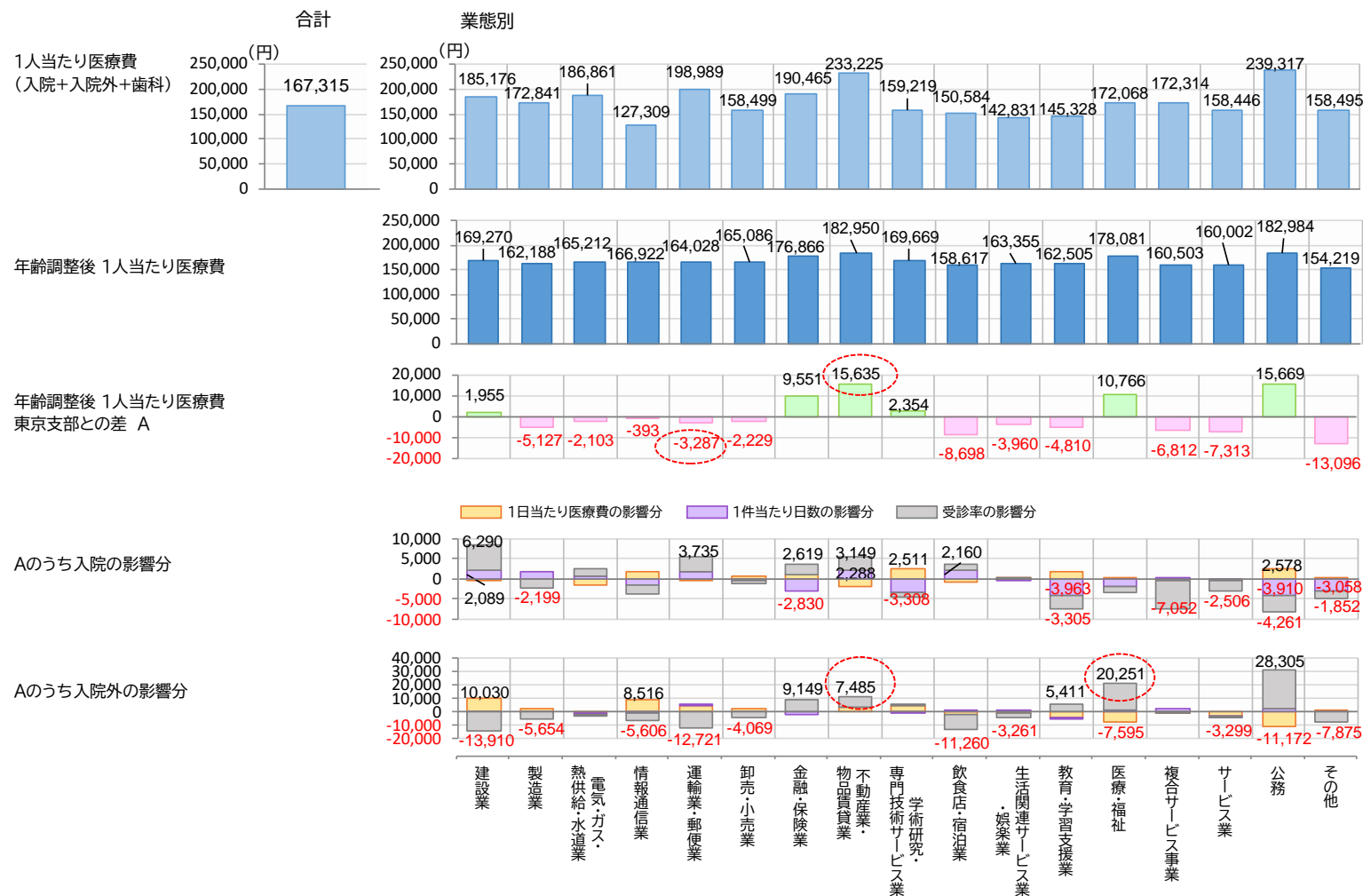
### ・業態別 被保険者 医療費(入院+入院外)の疾病別構成割合



- ・被保険者数の割合が高い「サービス業」「卸売・小売業」の1人当たり医療費は平均を下回っている。
  - ・被保険者数割合が比較的高い「不動産・物品賃貸業」「運輸業・郵便業」の1人当たり医療費は平均を上回っている。
- 本業態は平均年齢が高く、疾病別では「循環器系の疾患」の占める割合が高い。

## II 医療費の現状

・業態別 被保険者 1人当たり医療費 年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解

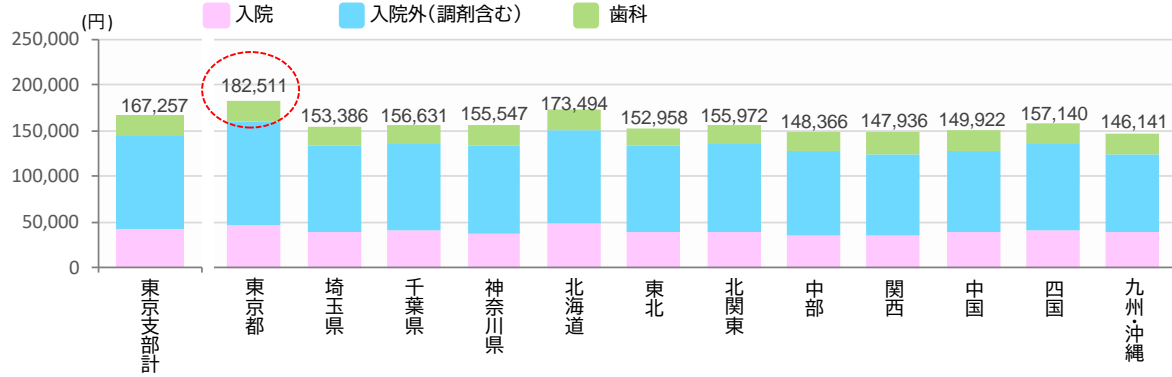


- ・10ページで示した「不動産・物品賃貸業」「運輸業・郵便業」については、年齢調整(全国の業態別の年齢構成と同一とする)後は、「不動産・物品賃貸業」は全国より高いまま、「運輸業・郵便業」は低くなった。
- ・「不動産・物品賃貸業」は、入院の1日当たり医療費、1件当たりの日数、入院外の影響分が大きい。
- ・「運輸業・郵便業」は、入院の影響分がプラスとなったが、入院外の影響分のマイナス分が大きかった。
- ・被保険者数の割合が高い「医療・福祉」は、年齢調整後6,000円程度上昇しており、入院外の影響分の高い。

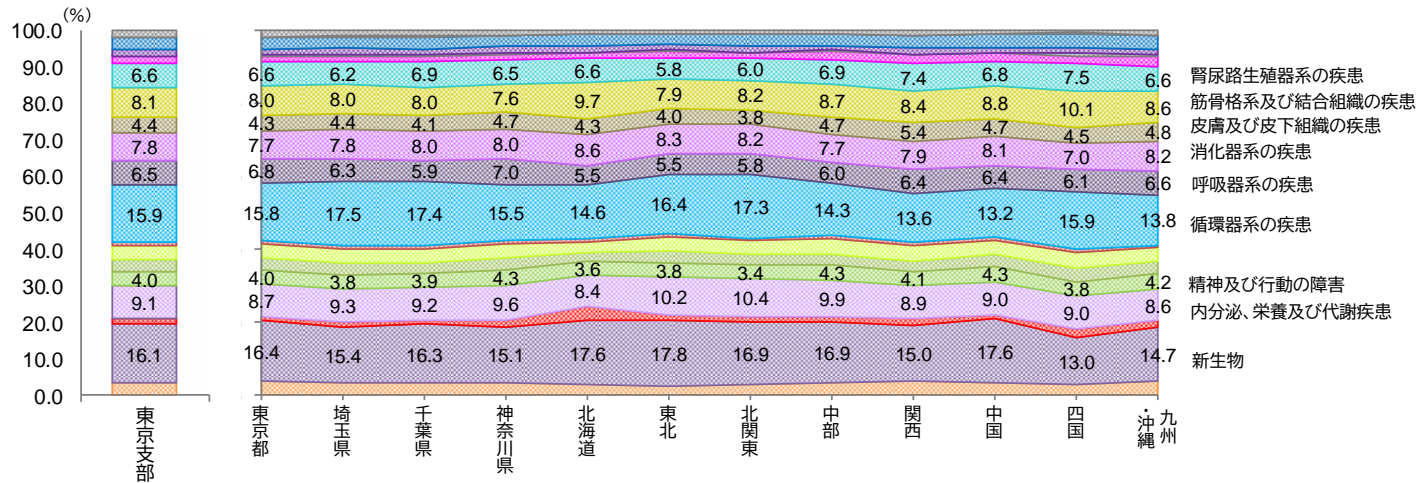


## II 医療費の現状

### ・居住地別 被保険者 1人当たり医療費



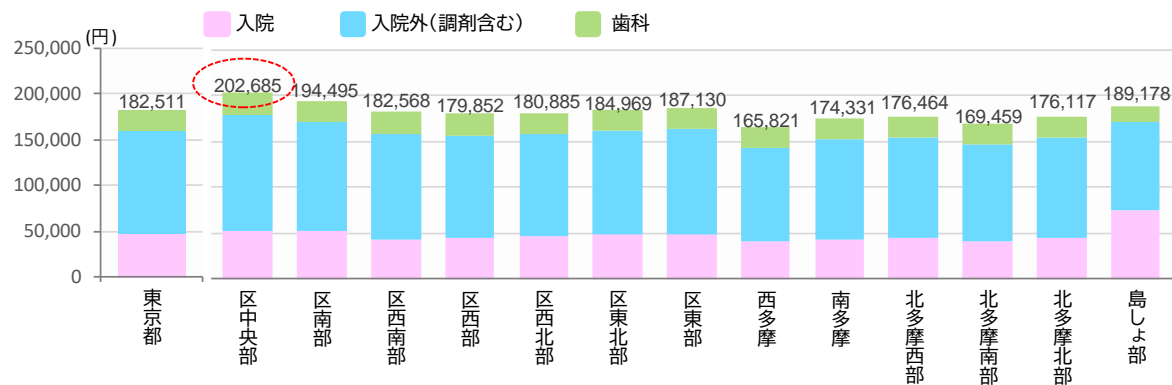
### ・居住地別 被保険者 医療費(入院+入院外)の疾病別構成割合



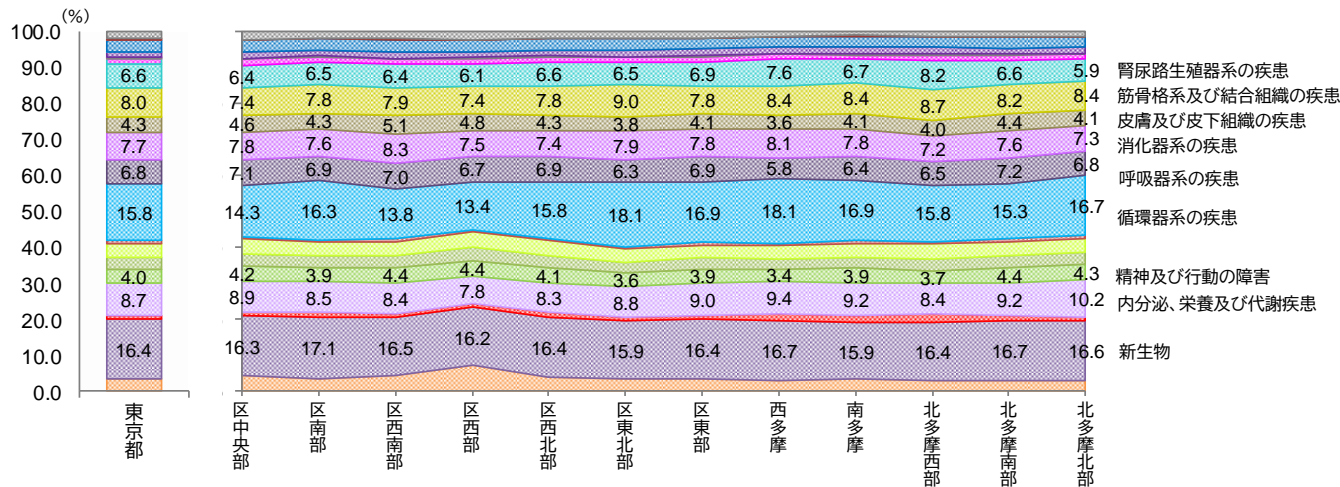
- ・東京支部被保険者の居住地別では、約半数を占める東京都が1人当たり医療費が最も高い。続いて北海道となった。
- ・東京都の疾病別構成割合では、各疾病が支部全体と近く、疾病での違いは見られない。

## II 医療費の現状

### ・居住地(東京都内2次医療圏)別 被保険者 1人当たり医療費



### ・居住地(東京都内2次医療圏)別 被保険者 医療費(入院+入院外)の疾病別構成割合

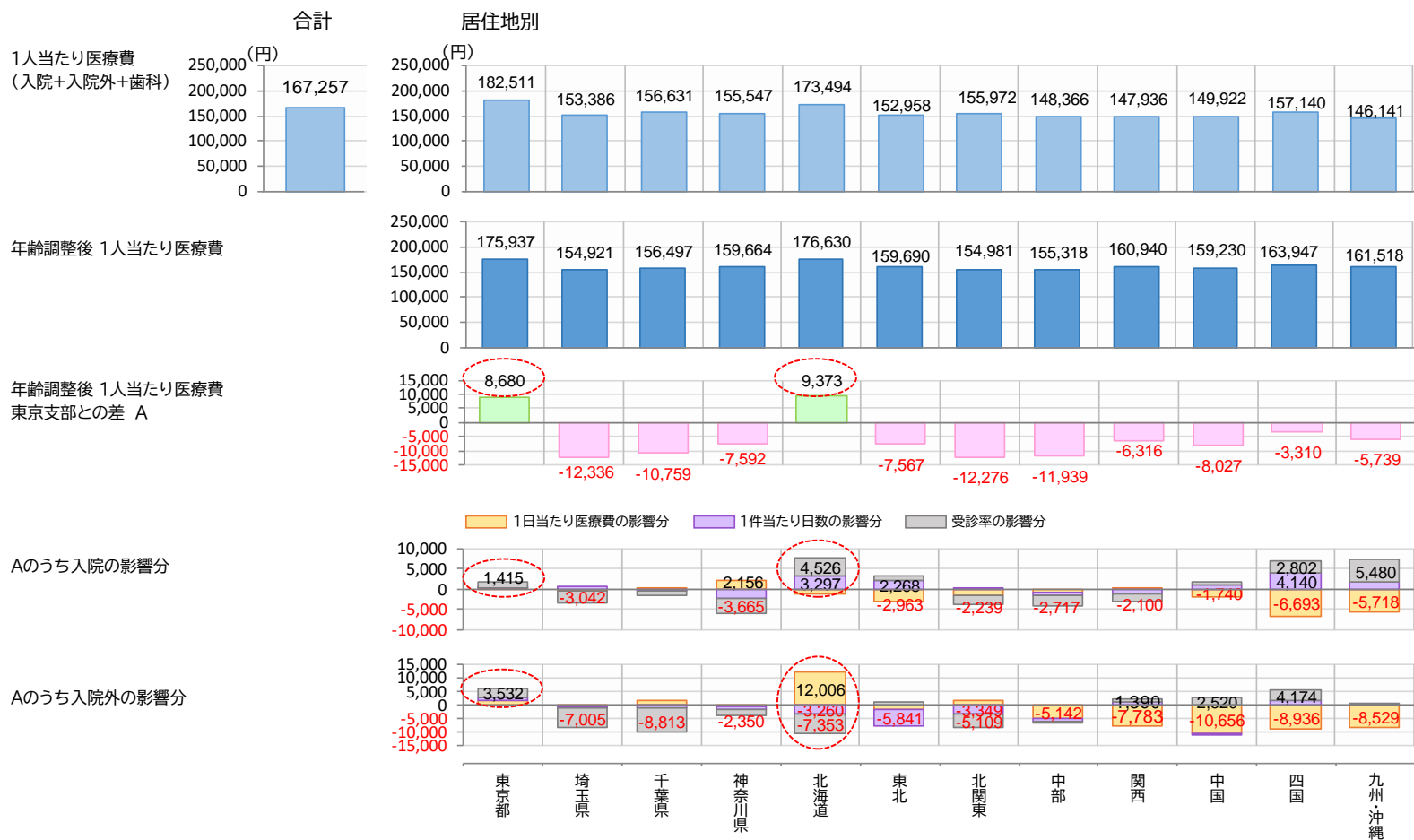


- ・東京都に居住する被保険者の2次医療圏別の1人当たり医療費では、「区中央部」が最も高く、合わせて、「区南部」「区西南部」「区東北部」「区東部」が平均を上回った。
- ・「区中央部」の疾病別構成割合では、各疾病が東京都と近く、疾病での違いは見られない。



## II 医療費の現状

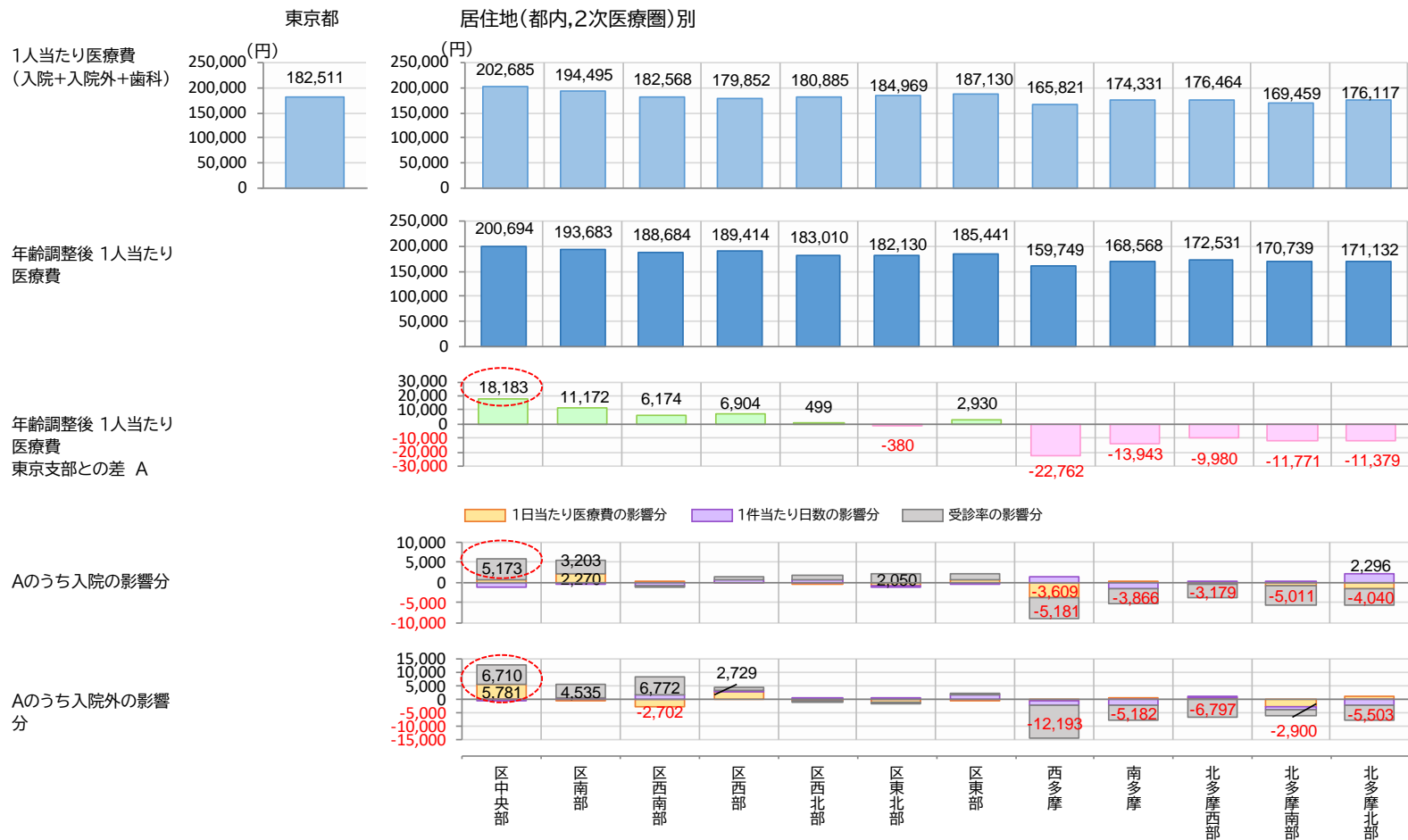
・居住地別 被保険者 年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解



- ・居住地別における年齢調整(東京支部全体の年齢構成と同一とする)後も、12ページと同様に「東京都」「北海道」は支部平均より高いままとなった。
- ・「東京都」は、入院、入院外の受診率の影響分が大きい。
- ・「北海道」は、入院の受診率、1件当たり日数、入院外の1日当たり医療費の影響が大きい。

## II 医療費の現状

・居住地(東京都内2次医療圏)別 被保険者年齢調整後1人当たり医療費、3要素分解



- ・東京都内2次医療圏における年齢調整(東京都の年齢構成と同一とする)後も、13ページと同様に「区中央部」が最も高く、合わせて、「区南部」「区南西部」「区東部」は東京都より高いままである。また、「区西部」は年齢調整により、東京都より高い結果となった。
- ・「区中央部」は、入院、入院外の受診率、入院外の1日当たり医療費の影響分が大きい。

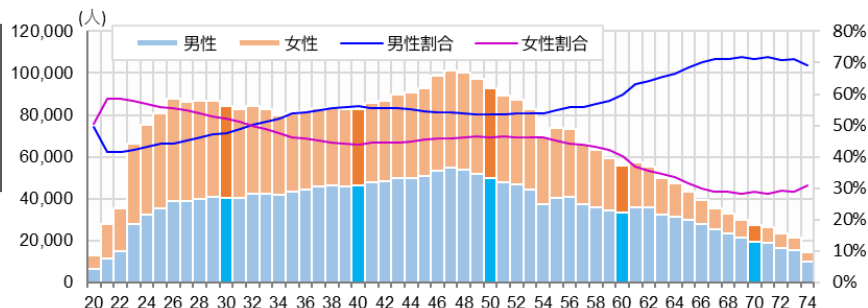
### Ⅲ 節目年齢における医療費

- 節目年齢(30歳、40歳、50歳、60歳、70歳)について、今回の分析は被保険者のみとする。  
被扶養者は30歳未満が約6割を占め、30歳以上は9割以上が女性となるため。

#### 1. 人数 (令和2年度末)

・男女別

	30歳		40歳		50歳		60歳		70歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
合計	84,478		82,769		92,637		55,691		27,315	
男性	40,284	47.7%	46,487	56.2%	49,700	53.7%	33,322	59.8%	19,433	71.1%
女性	44,194	52.3%	36,282	43.8%	42,937	46.3%	22,369	40.2%	7,882	28.9%



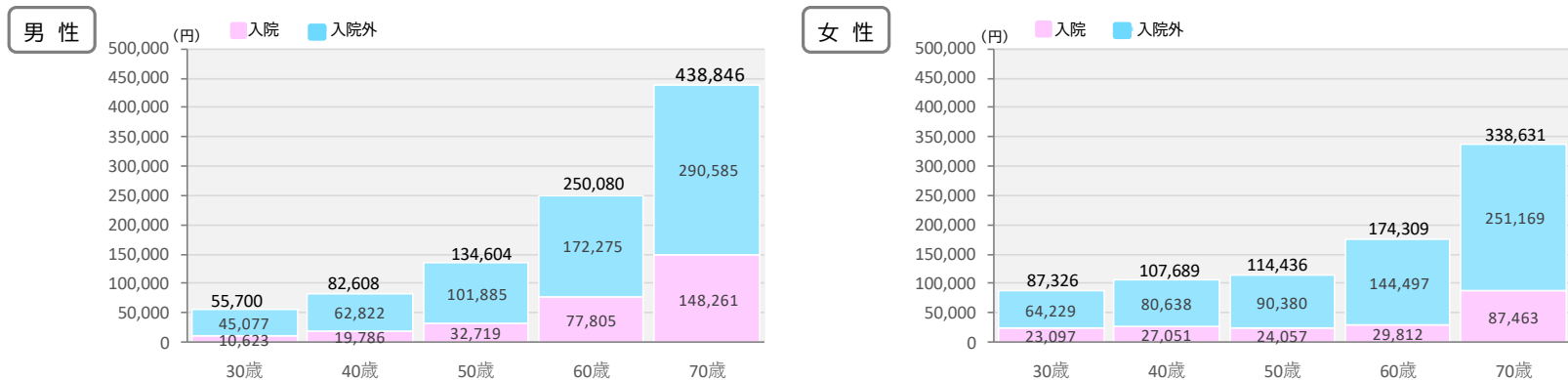
・業態別

	30歳		40歳		50歳		60歳		70歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
合計	84,478		82,769		92,637		55,691		27,315	
建設業	3,925	4.6%	4,695	5.7%	6,340	6.8%	3,404	6.1%	2,145	7.9%
製造業	4,645	5.5%	5,606	6.8%	7,604	8.2%	4,687	8.4%	1,923	7.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	212	0.3%	264	0.3%	381	0.4%	271	0.5%	100	0.4%
情報通信業	7,780	9.2%	5,525	6.7%	3,512	3.8%	1,643	3.0%	402	1.5%
運輸業・郵便業	2,045	2.4%	3,139	3.8%	5,846	6.3%	4,151	7.5%	1,945	7.1%
卸売・小売業	10,018	11.9%	10,151	12.3%	10,756	11.6%	6,017	10.8%	2,434	8.9%
金融・保険業	721	0.9%	800	1.0%	941	1.0%	827	1.5%	200	0.7%
不動産業・物品賃貸業	2,439	2.9%	2,801	3.4%	3,009	3.2%	2,851	5.1%	3,266	12.0%
学術研究・専門技術サービス業	8,401	9.9%	8,466	10.2%	6,975	7.5%	4,210	7.6%	1,654	6.1%
飲食店・宿泊業	4,192	5.0%	4,703	5.7%	4,575	4.9%	2,796	5.0%	1,562	5.7%
生活関連サービス業・娯楽業	4,310	5.1%	3,265	3.9%	2,706	2.9%	1,776	3.2%	883	3.2%
教育・学習支援業	2,543	3.0%	1,778	2.1%	1,623	1.8%	929	1.7%	253	0.9%
医療・福祉	8,735	10.3%	8,248	10.0%	8,881	9.6%	5,828	10.5%	1,931	7.1%
複合サービス事業	434	0.5%	487	0.6%	755	0.8%	584	1.0%	55	0.2%
サービス業	23,338	27.6%	21,985	26.6%	27,161	29.3%	14,207	25.5%	7,416	27.1%
公務	588	0.7%	712	0.9%	1,365	1.5%	1,394	2.5%	1,099	4.0%
その他	152	0.2%	144	0.2%	207	0.2%	116	0.2%	47	0.2%

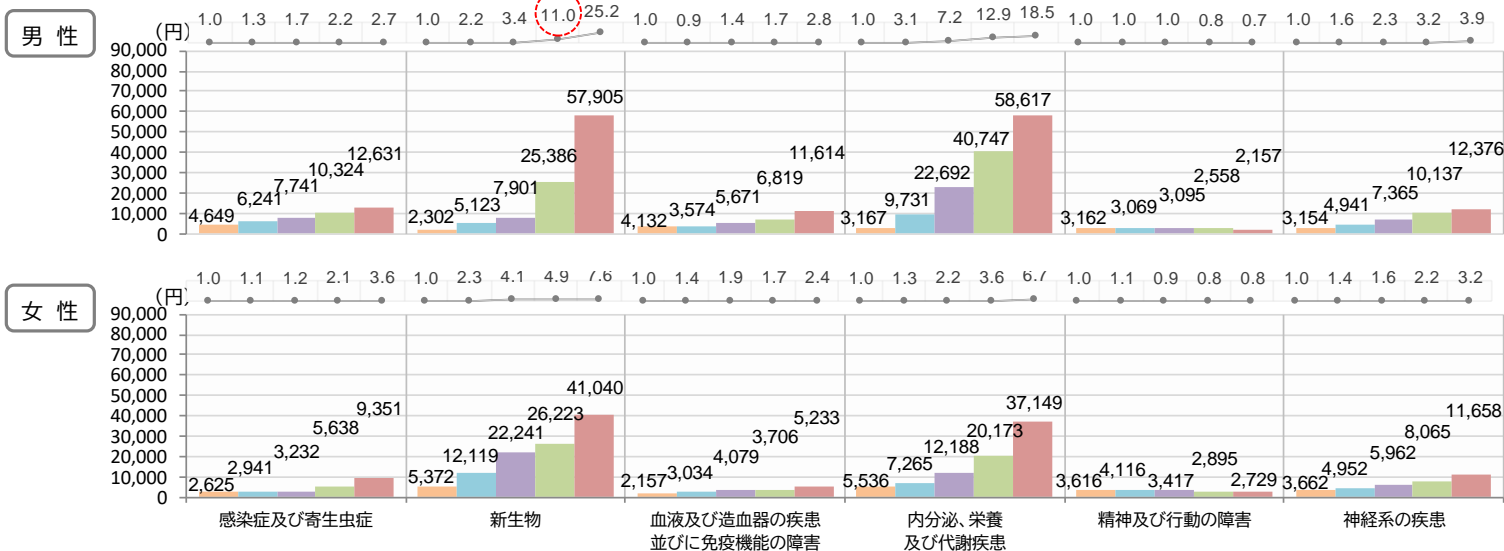
- ・被保険者数は40歳代後半がピークとなり、減少していく。男女別では、31歳までは女性の比率が高いが、32歳以降は男性が高くなり、60歳以降は男女差が広がっている。
- ・節目年齢では50歳が9万2千人程度と最も多い。男女別では、30歳のみ女性が多く、40、50、60歳と男性が多くなり、70歳では男性が約7割を占めている。
- ・業態別では、全ての年齢でサービス業(労働者派遣、対事業所サービス業等)が25~29%と最も多い。続いて、70歳を除いては、卸売・小売業、医療・福祉が10~12%程度となっている。

### Ⅲ 節目年齢における医療費

#### 2. 令和2年度 被保険者1人当たり医療費



#### ・男女別 疾病分類別 被保険者1人当たり医療費



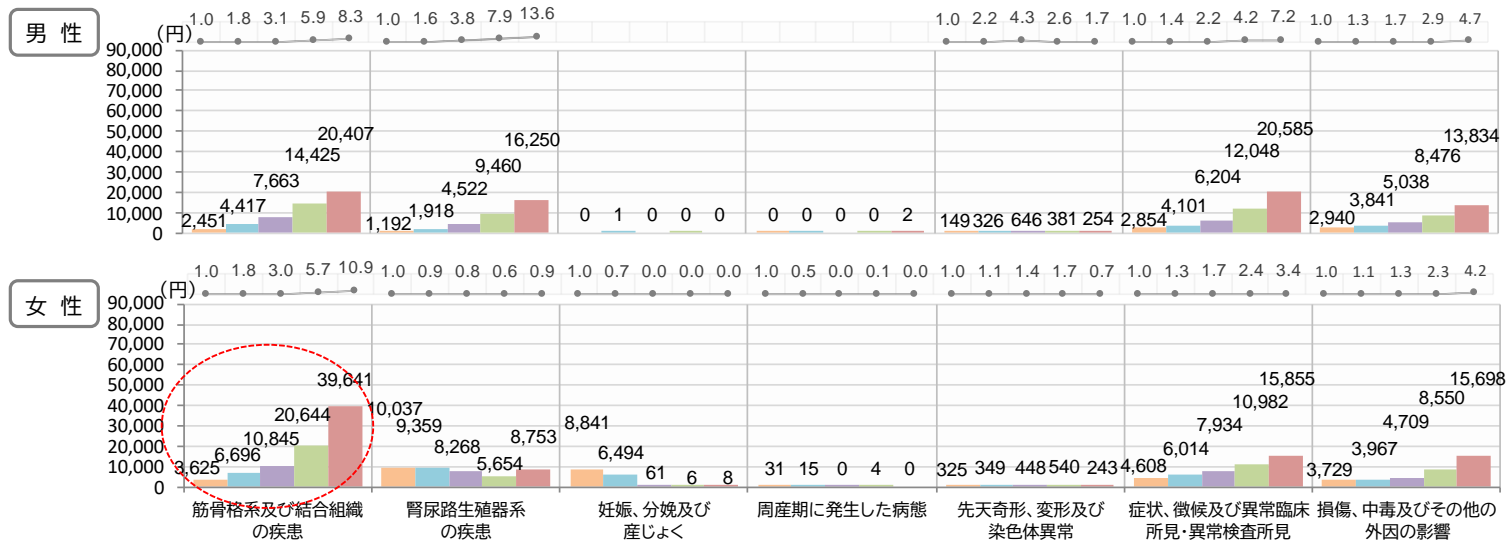
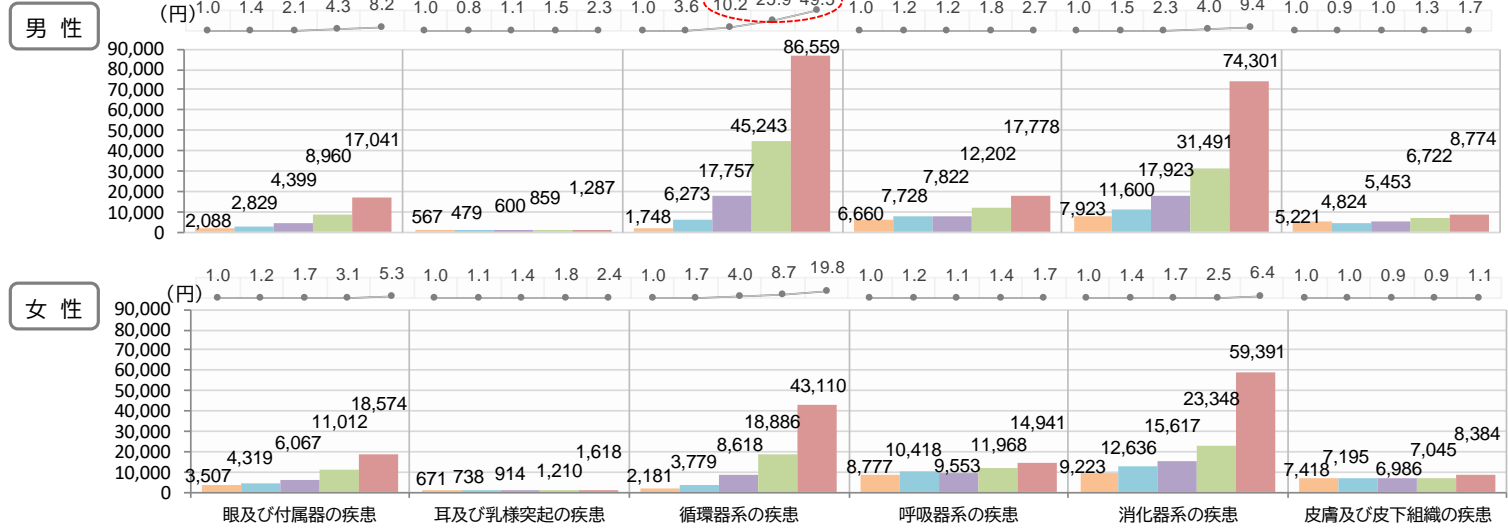
- ・1人当たり医療費は、30歳、40歳では女性の方が高いが、50歳、60歳、70歳は男性の方が高くなっている。
- ・新生物では、70歳を除いて女性の方が高いが、男性は60歳の指数が11.0と大きい。  
内分泌、栄養及び代謝疾患 循環器系の疾患では、男性の伸びが大きく、特に後者では50歳での指数が10.2となっている。  
筋骨格系及び結合組織の疾患では、女性が各年齢において男性を上回った。

### Ⅲ 節目年齢における医療費

・男女別 疾病分類別 被保険者1人当たり医療費



※ 折れ線グラフは30歳を1.0としたときの指数

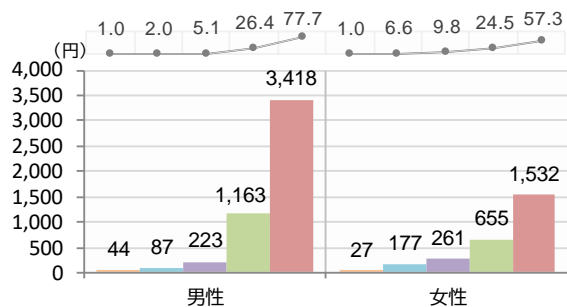


### Ⅲ 節目年齢における医療費

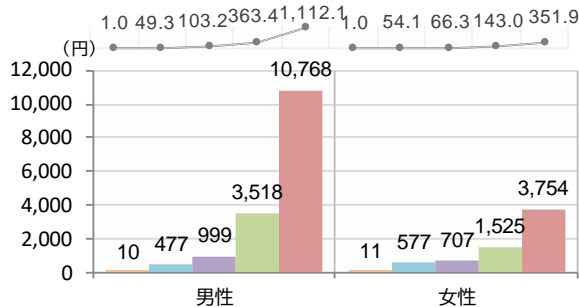
・男女別 疾病別 被保険者1人当たり医療費(入院+入院外)

■ 30歳 ■ 40歳 ■ 50歳 ■ 60歳 ■ 70歳
 ※ 折れ線グラフは30歳を1.0としたときの指数

胃の悪性新生物



気管、気管支及び肺の悪性新生物

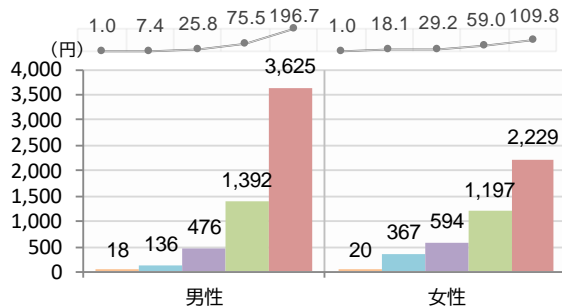


胃の悪性新生物

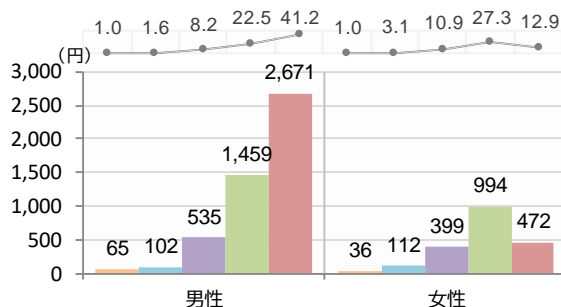
・男女とも60歳で大幅に1人当たり医療費は増え、30歳の20倍を超える。

気管、気管支及び肺の悪性新生物  
・男女とも40歳で1人当たり医療費は増え、30歳の50倍程度となる。50歳以降も上昇、特に、男性の増が大きい。

結腸の悪性新生物



直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物

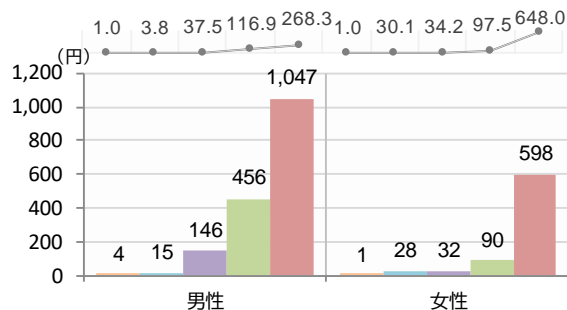


結腸の悪性新生物

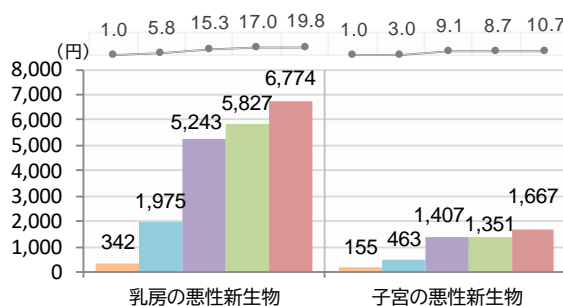
・1人当たり医療費の40、50歳は女性の方が伸びが高いが、60、70歳で男性が上回る。

直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物  
・結腸より伸びは小さいが、60歳での伸びは同程度である。

肝及び肝内胆管の悪性新生物



乳房、子宮の悪性新生物(女性のみ)



肝及び肝内胆管の悪性新生物

・胃、肺、腸と比べて1人当たり医療費は小さい。男性は50歳以降、金額が伸びている。

乳房、子宮の悪性新生物

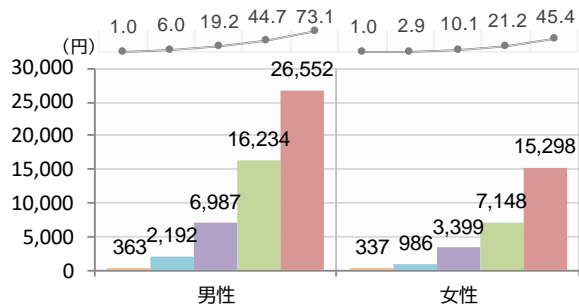
・乳房の悪性新生物は、40歳で2千円程度となり、50、60、70歳と5千円を超える。子宮の悪性新生物は乳房よりも金額は小さい。

### Ⅲ 節目年齢における医療費

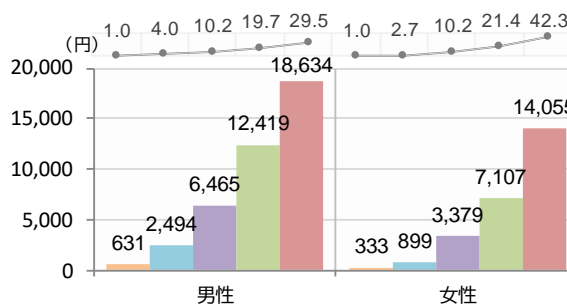
・男女別 疾病別 被保険者1人当たり医療費(入院+入院外)

■ 30歳 ■ 40歳 ■ 50歳 ■ 60歳 ■ 70歳
 ※ 折れ線グラフは30歳を1.0としたときの指数

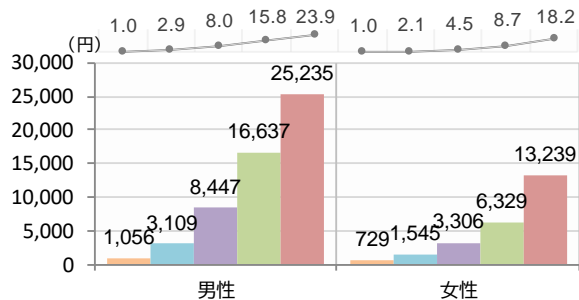
高血圧性疾患



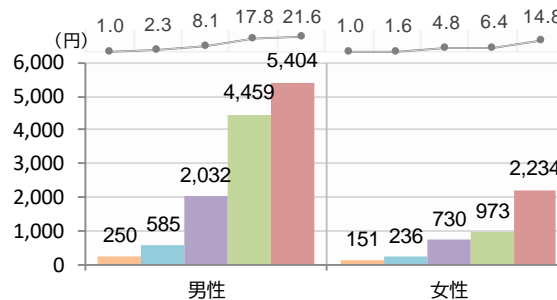
脂質異常症



糖尿病



腎不全



**高血圧性疾患**

・各年齢とも、男性の方が1人当たり医療費が大きく、伸びも大きい。

**脂質異常症**

・各年齢とも、男性の方が1人当たり医療費が大きいが、60歳、70歳の伸びは女性の方が大きい。

**糖尿病**

・各年齢とも、男性の方が1人当たり医療費が大きく、伸びも大きい。高血圧性疾患、脂質異常症と比べて、30歳、40歳での金額が大きい。

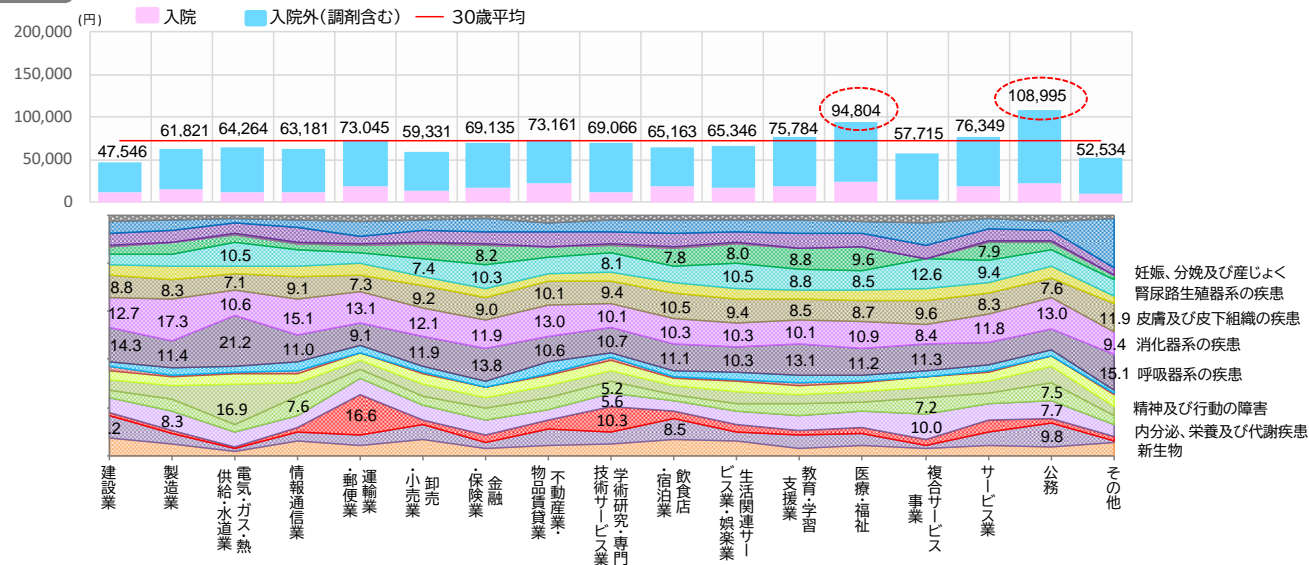
**腎不全**

・各年齢とも、男性の方が1人当たり医療費が大きく、伸びも大きい。

### Ⅲ 節目年齢における医療費

・業態別 被保険者1人当たり医療費と疾病別構成割合

30歳

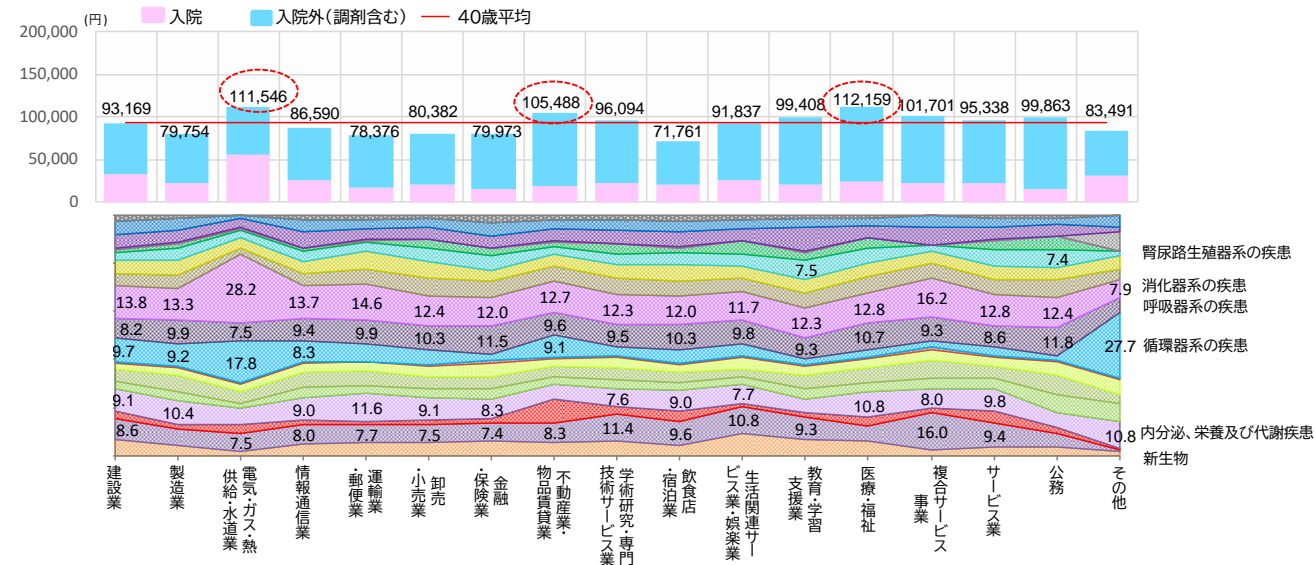


・「医療・福祉」「公務」が平均を上回った。入院外が大きい。

・疾病状況では、全体的に新生物や循環器系の疾患が少なく、呼吸器系の疾患、消化器系の疾患、皮膚及び皮下組織の疾患の占める割合が高い。

・「医療・福祉」を含め、数業態において、妊娠、分娩及び産じょくの割合が高くなっている。

40歳



・「電気・ガス・熱供給・水道業」「不動産業・物品賃貸業」「医療・福祉」の平均との差が大きい。

・「電気・ガス・熱供給・水道業」「不動産業・物品賃貸業」で循環器系の疾患の割合が大きい。

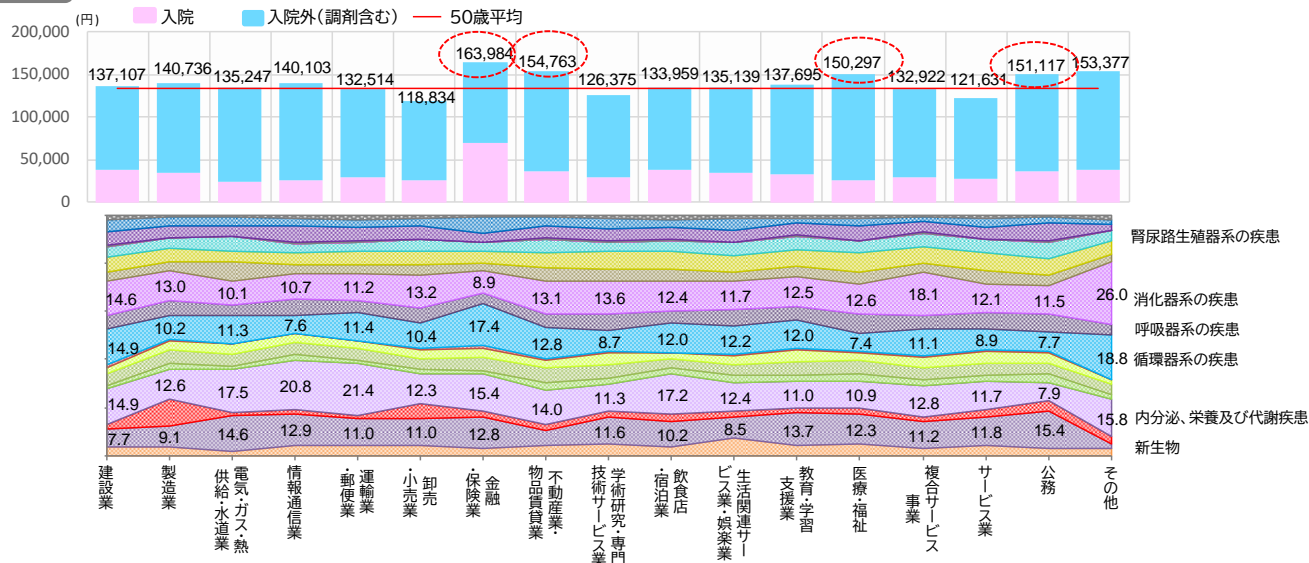
・全体的に新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患の割合が増えてきている。



### Ⅲ 節目年齢における医療費

・業態別 被保険者1人当たり医療費と疾病別構成割合

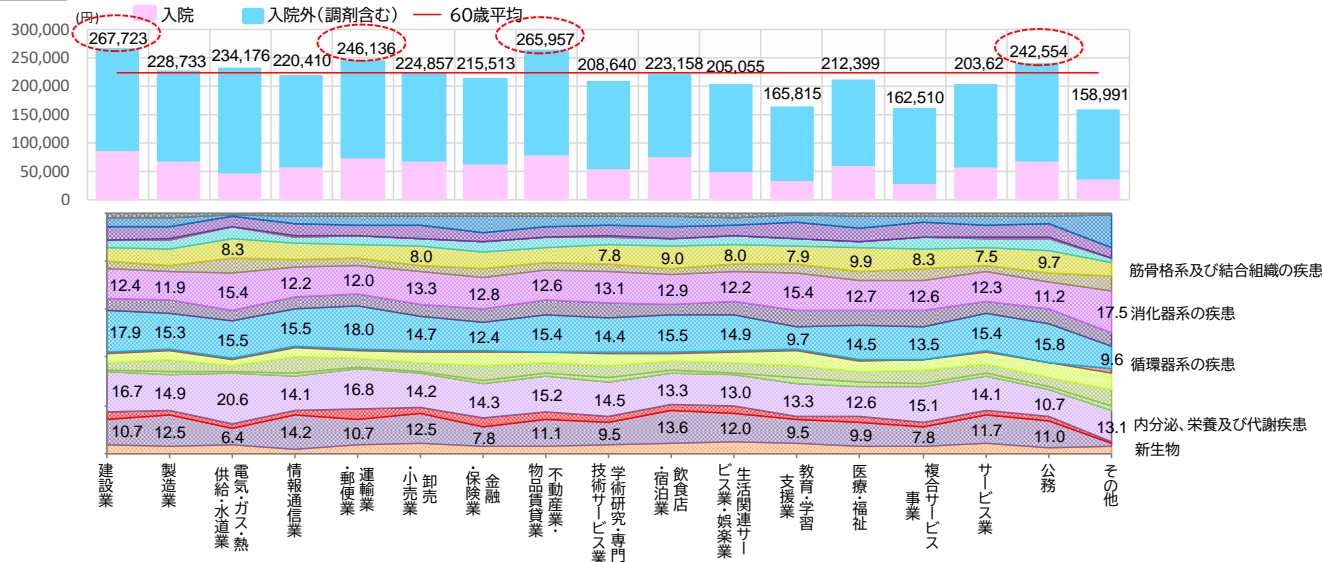
50歳



・「金融・保険業」「不動産業・物品賃貸業」「医療・福祉」「公務」の平均との差が大きい。  
 (鉱業・採石業・砂利採取業は人数が極小)

・全体的に新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患の割合が40歳より増えており、上記の業態での割合が大きい

60歳



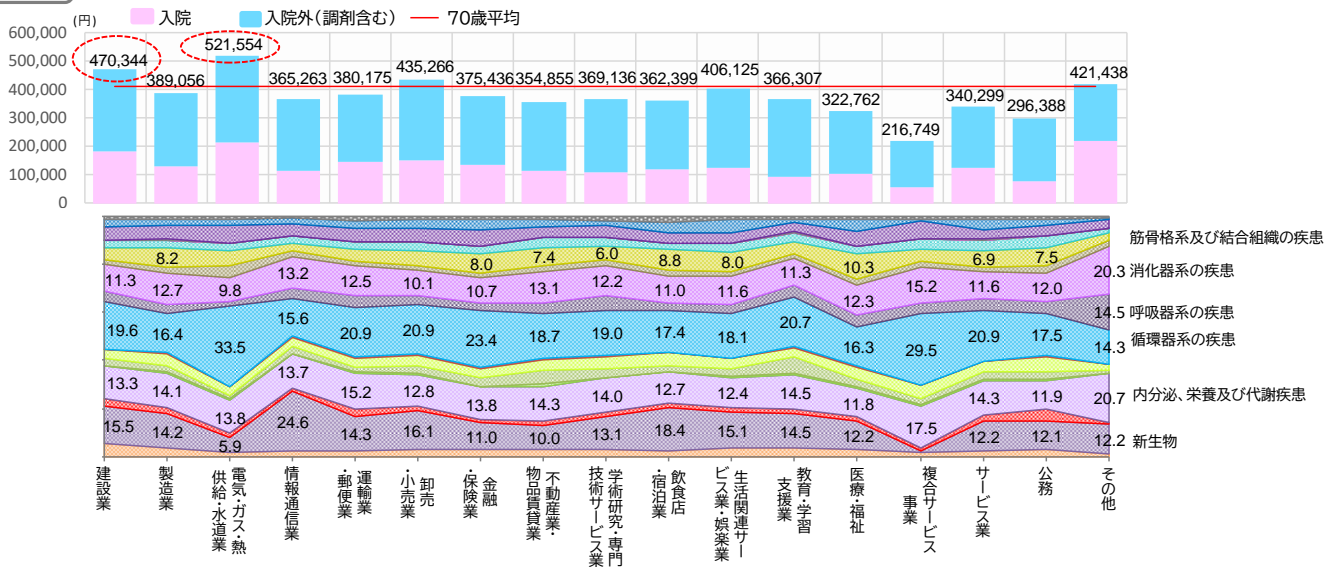
・「建設業」「運輸業・郵便業」「不動産業・物品賃貸業」「公務」の平均との差が大きい。

・全体的に新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患の割合が50歳より増えており、特に「建設業」「運輸業・郵便業」の内分泌、栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患の割合が大きい。

### Ⅲ 節目年齢における医療費

・業態別 被保険者1人当たり医療費と疾病別構成割合

70歳



・「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」の平均との差が大きい。

・建設業は新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患の割合が大きい。

「電気・ガス・熱供給・水道業」は、特に循環器系の疾患の割合が大きい。